

診療情報管理士学科（昼間3年制）

養成目的

本学科では、医療の現場、特に急性期医療で求められている「診療情報のプロフェッショナル」であり、医療機関運営に携わる、医療の質向上に関与する「提案型診療情報管理士」の養成を目的とする。

本学科では診療情報管理士領域、医療情報技師領域、医学領域、提携併修している産能大学、産能短期大学では医療マネジメント、マーケティングと双方の教育の強みを最大限に生かし、益々高度専門分化する診療情報分野の専門家である診療情報管理士として自己研鑽を続けることができる自立した職業人の育成を行う為に3つのコースを設置している。

①診療情報管理士コース、医療従事者、患者、その他への診療情報提供や医療統計処理、専門的な診療情報管理が出来る人材育成、②医療情報技師コース、医療情報システム、ICTに対応すべく医療知識を兼ね備えたコンピュータの専門知識を有した人材育成、③視能訓練士内部進学コースは卒業後、視能訓練士学科1年制へ内部進学し1年間で国家試験である視能訓練士を取得し活躍するマルチな人材育成を行う。

養成目標

①診療情報管理士コース

診療情報管理士資格取得を主軸に据え、資格取得後業務としての診療情報の分析、提供、医療経営への参画、国際疾病コーディング、癌登録、DPC等の知識、技術を修得し、即戦力として医療現場で活躍できる人材を養成する。専門細分化が進む医療業界において適切な診療情報管理、またそれらの二次、三次利用を行い、地域、国、世界と医療の発展に貢献出来る人材の養成している。

②医療情報技師コース

診療情報管理士に加えIT分野の知識と医療情報技師を取得する事により、これからの医療をリードしていける医療の情報処理に精通したプロフェッショナルを育成する。診療情報管理士、医療情報技師の両方の知識と技術を用いる事により膨大な医療データを統計分析し医療の質向上、医療機関の安定運営にデータ提供を通じて寄与する人材の育成をしている。

③視能訓練士学科【昼間部1年制】内部進学コース

医療ICTの知識と操作技術を身につけた未来の眼科医療を支える新しいスペシャリストと位置づけ、全国でも唯一のコース設定で、常に向上心、探究心を持ち自己研鑽する姿勢をもった人材として育成している。また、姉妹校との連携により、eスポーツのプロフェッショナル養成コースとのコラボレーションとして視能訓練士としてのサポートなど近未来的な多彩なカリキュラムにて次世代人材の育成を行っている。

取得目標資格

共通目標資格

- ・ 診療情報管理士（4 病院団体協議会、財団法人医療研修推進財団認定）
- ・ 診療報酬請求事務能力認定試験（医科）（財団法人日本医療保険事務協会認定）
- ・ 医療秘書技能検定（医療秘書教育全国協議会認定）
- ・ 語彙読解力検定（朝日新聞）

医療情報技師コース目標資格

- ・ 医療情報技師（初級）（日本医療情報学会）
- ・ マイクロソフトオフィススペシャリスト（オデッセイコミュニケーションズ）

視能訓練士学科【昼間部 1 年制】内部進学コース目標資格

- ・ 視能訓練士（国家資格）（内部進学後卒業時に受験資格取得）
- ・ 視覚障害者ガイドヘルパー（大阪府指定 同行援助従事者養成研修）
- ・ 医師事務作業補助者実務能力認定試験（全国医療福祉教育協会）

就職分野

特定機能病院、急性期病院、一般病院、療養型病院、診療所、医院、他

職 種

診療情報管理士、医療情報技師、医療事務、医師事務作業補助者、医療秘書、他